

萬亀

特別号
No. 1

東長寺伽藍拡張計画

檀信凌会館



一〇〇年後のクラシックになる宗教建築を目指して

日本を代表し現代まで残る多くの寺院は、当時の人々の叡智を結集して建立され、今も色褪せることのない輝きを放っています。現在、建設を進めております檀信徒会館もまた、現代の意匠、構造技術、設備技術などの智慧を最大限に活用し、一〇〇年後の後世に伝える宗教建築を目指しています。

建物の特徴

- ・大地震が起きた場合に、その揺れを直接建物に伝えない技術の導入（免震構造）
- ・一〇〇年後も強固に建物を支える鉄骨技術の導入
- ・建物内の消費エネルギーを最大限に縮小する断熱、気密性能
- ・地中熱を利用した自然再生エネルギーの利用
- ・都市内の自然環境の回復を目指す緑化技術の導入



面積

計画総面積 七二二、二八㎡
建築面積 二二二、五五㎡
延床面積 五六八、七四㎡

構造

鉄骨造、二部鉄筋コンクリート造

建築内容

一階 ロビー、受付
二階 葬祭場、安置室、トイレ
三階 講堂(将来、位牌堂兼納骨堂)
四階 位牌堂兼納骨堂
五階 法堂(慈嶽堂)

基本計画

東長寺

基本実施設計

株式会社小堀哲夫建築設計事務所
アラップ

キアーキテクツ株式会社

株式会社ヒュマス

設計監理

株式会社マニフィールド

施工

松井建設株式会社

竣工予定

平成二十七年四月末日

総工費

六億一千万円(消費税別・仏具装身具別)





曹洞宗 萬亀山 東長寺
160-0004 東京都新宿区四谷4-34
(檀 家) 03-3341-9746
(縁の会) 03-3353-6874